

# くすりのしおり

注射剤

2022年04月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

**製品名：マイロターグ点滴静注用 5mg**

**主成分：**ゲムツズマブオゾガマイシン（遺伝子組換え）（Gemtuzumab ozogamicin(genetical recombination)）

**剤形：**注射剤

**シート記載など：**



**この薬の作用と効果について**

ヒト化抗 CD33 抗体と抗腫瘍性抗生物質誘導体を結合した薬で、CD33 抗原を発現した白血病細胞内に取り込まれた後に、殺細胞活性を発揮して抗腫瘍作用を示します。

通常、再発または難治性の CD33 陽性の急性骨髄性白血病の治療に用いられます。

**次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。**

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝機能障害、腎機能障害がある。感染症にかかっている。肺に病気がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

**用法・用量（この薬の使い方）**

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回2時間かけて静脈内に点滴します。少なくとも14日間の間隔をおいて、2回点滴します。
- ・症状を見ながら使用期間を決めていきます。

**生活上の注意**

- ・医師の指示を守って定期的に血液検査を受けてください。
- ・長期間投与に関しては、定期的に肝臓および腎臓の働きを調べることがあります。その場合には、指定された日時に検査を受けてください。
- ・妊娠する可能性がある女性およびパートナーが妊娠する可能性のある男性は、この薬を使用している間および使用終了後一定期間は避妊をするようにしてください。

**この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）**

主な副作用として、発熱、寒気、吐き気、嘔吐、食欲不振、下痢、腹痛、便秘、不整脈（頻脈など）、低血圧、点状出血、頭痛、脱力感、けん怠感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

**まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。**

**このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。**

- ・寒気がする、熱が出る、吐き気がする [infusion reaction]
- ・体がだるい、熱が出る、出血しやすい [血液障害（骨髄抑制など）]
- ・震えを伴う急激な高熱が出る、動悸がある、胸部に不快感がある [感染症]
- ・頭が痛い、お腹が痛い、血を吐く [出血]
- ・体がだるい、食欲が低下する、吐き気 [肝障害]

**以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。**

**保管方法 その他**

**医療担当者記入欄**

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。